

科目名	地理B		学年・必修	2年	必修	使用教科書	『新詳地理B』（帝國書院） 『標準高等地理-地図でよ現代社会』（帝國書院）				
			単位数	2		使用副教材	『新詳地理Bノート』（帝國書院）				
学習目標	<p>『現代世界の地理的事象を系統的・地理的に、現代世界の諸地域を歴史的発展を踏まえて地理的に考察し、現代世界の地理的構造を踏まえて、地理的な見方や考え方を思い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と責任を養う。』（『高等学校学習指導要領』より）</p> <p>① 資料やデータ、図表を正確に読み取り、現代世界で起きている事象を地理情報システム（GIS）等を利用してデジタル化する能力を身につける。  ② 高くない問いに向き合うことを通じて、多角的に物事を考える力と探究心、システム・シンキング的な考え方を身につける。  ③ 大卒入学共通テストへの対応として、すでに備わった情報をもとに「論理的に論じる、読む」をテーマに言語化能力および文章化能力を身につける。  授業では、知識整理を行ったうえで、対話的・協働的・探究的活動を中心に、以上3つの目標の達成を目指す。</p>										
学習方法	<p>地理は、「暗記科目」とも思われやすいですが、暗記だけではすべての内容を理解できません。地理とは「地」の「ことわり」を知ることで、つまり地理とは、地球上の自然環境や資源、産業、都市・村落、そして生活文化などについて考察することです。言い換えれば、地球上の様々な自然や地味に思いをはせ、「なぜそこではそのようなものがあるのか」を論理的に示すことです。</p> <p>① 高くない問いに向き合うことを通じて、多角的に物事を考える力と探究心、システム・シンキング的な考え方を身につける。  ② 大卒入学共通テストへの対応として、すでに備わった情報をもとに「論理的に論じる、読む」をテーマに言語化能力および文章化能力を身につける。  授業では、知識整理を行ったうえで、対話的・協働的・探究的活動を中心に、以上3つの目標の達成を目指す。</p>										
学習評価	学習評価		科目の評価の観点の留意		評価方法		割合（％）				
	a	関心・意欲・態度	授業に集中し、関心を持って意欲的に学ぶこと。グループワーク等において、全員と幅広く学び合い、「教えあおう」としている。		1	授業での活動	学習活動の取り組みの様子や得意な成果としてのノートの完成度	20			
	b	思考・判断・表現	資料や授業等より得た知識や情報を的確に使い分け、論理的に表現することができる。		2	レポート作成	定期的な実施する小テストと年4回の定期調査試験レベルと発表や議論の論理性	30			
	c	観察・実験の技能	グラフ、データなどをもとに事象を正確に読み取り、分析することで、現代社会を多角的に理解することができる。		3	提出物	定期的な実施する小テストと年4回の定期調査試験レベル	20			
d	知識・理解	授業で学んだ内容を理解し知識を整理できている。様々な歴史的発展や地理的事象に関連性を持たせながら理解できる。		4	定期調査	定期的な実施する小テストと年4回の定期調査試験レベル	30				
地理上の到達目標	到達する領域（科目）		到達する領域・科目		到達する領域・科目						
	22	アングロアメリカ	外国語（英語）		長米圏の気候の特徴や食文化、宗教について取り扱うことで、英語における文法の流れや文法構文の考え方が日本とは異なるということを理解する。英米圏と日本単独の異質なニュースの違いについても、日本と海外の違いから関連させる。						
学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習の目標・ねらい	a	b	c	d	学習内容と学習のポイント	身に付けられるOkushirity 5.0	
前期	4	1	資源・エネルギー問題	4	資源・エネルギー問題について、世界と日本の資源・エネルギー問題を大規模に、国際的動向や近年の動向、問題解決の取り組みを考察する。					資源・エネルギー問題について、生産・消費のバランスをさまざまな視点、エネルギー問題の動向に対する関心と課題意識を高め、それを意図的に探究し、とらえようとしていること	学びに向かう姿勢
	4	5	2 世界の工業	10	世界の工業について、工業の立地や発展や経済、立地とその変化、現状と課題を考察する。また、日本の産業の特徴と課題を考察する。	◎				世界の工業について、工業の立地や発展に影響を及ぼす自然条件や社会条件を踏まえて工業地域の発展と変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できること	学びに向かう姿勢
	5	6	3 第3次産業	12	第3次産業について、その特徴や発展の背景、地域差などをとらえるとともに、世界と日本の観光業の特徴を考察する。	◎				第3次産業の地域差や近年の動向について、情報化・グローバル化の進展の影響などを踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できること	思考・判断・表現力
	6	4	4 世界を結ぶ交通・通信	10	世界を結ぶ交通・通信について、交通機関の種類や特徴をとらえるとともに、交通の発達による世界の一体化と課題を考察する。	◎				交通機関や通信の発達によって一体化が進む世界が抱える課題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できること	思考・判断・表現力
	7	5	5 現代世界の貿易と経済圏	4	現代世界の貿易と経済圏について、進展する国際分業の現状と課題、貿易の自由化と経済連携の動向を考察する。	◎				現代世界の貿易と経済圏について、国際分業の現状と課題を踏まえて、貿易の自由化と経済連携の動向と課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できること	学びに向かう姿勢
	8	6	6 世界の人口	2	世界の人口について、その分布の特徴や動向、人口構成や人口転換を考察する。				◎	世界人口の分布と動向、人口構成の特徴と人口転換のしくみを理解し、その知識を身につけていること	学びに向かう姿勢
	8	7	7 人口問題	2	人口問題について、世界の人口問題を大規模に、発展途上国と先進国のそれぞれについて、その動向や対策をとらえる。	◎				発展途上国と先進国のそれぞれについて、人口問題に対する関心と課題意識を高め、それを意図的に探究し、とらえようとしていること	思考・判断・表現力
	8	8	8 村落と都市	2	村落と都市について、その立地条件や発展の背景、村落や都市がもたらした人間生活のありかたを考察する。	◎				村落と都市について、その立地条件や発展経緯、機能に関する関心と課題意識を高め、それを意図的に探究し、とらえようとしていること	思考・判断・表現力
	9	9	9 都市・居住問題	3	都市・居住問題について、世界の都市・居住問題を大規模に、発展途上国と先進国のそれぞれについて、その動向や対策をとらえる。	◎				発展途上国と先進国のそれぞれについて、都市・居住問題に対する関心と課題意識を高め、それを意図的に探究し、とらえようとしていること	思考・判断・表現力
	9	10	10 世界の衣食住	3	世界の衣食住について、地域差があることに基づくとともに、世界的に一体化が進む現状を考察する。	◎				世界の衣食住について、さまざまな食文化や地域の差異の背景、世界と日本の衣食住の変化と世界的な一体化の動向を、自然環境や社会環境の変化などを踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できること	思考・判断・表現力
	9	11	11 民族と宗教	3	民族と宗教について、民族と宗教、世界の宗教の分布や特徴、生活のありかたについて考察する。	◎				民族と宗教について、民族とは何かを言語とのかかわりから、宗教とは何かを生活とのかかわりから、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できること	探究心
	9	12	12 現代世界の国家	3	現代世界の国家について、国家と領土・領土のありかた、国家と主権の考え方、さまざまな国家と国際関係の課題を考察する。	◎				現代世界の国家について、国家と領土・領土のありかた、国家と主権の考え方、さまざまな国家と国際関係の課題を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できること	探究心
後期	10	13	13 民族・領土問題	4	民族・領土問題について、現代世界の民族・領土問題を大規模に、そのおもな原因と共生に向けた取り組みを考察する。	◎				民族・領土問題について、そのおもな原因と共生に向けた取り組みに対する関心と課題意識を高め、それを意図的に探究し、とらえようとしていること	思考・判断・表現力
	10	14	14 地域区分とは何か・地域の考察方法	1	地域区分の目的と意義を理解し、有用性に基づくとともに、国・地域ごとの地域区分と考察の方法について理解する。				◎	地域区分の目的と意義、方法、有用性を理解し、その知識を身につけていること	学びに向かう姿勢
	10	15	15 東アジア	2	形式的な地域区分にもとづき、自然環境、中国の歴史・文化と巨大な人口、農業・工業、中国の海外進出、朝鮮半島の歴史・文化、韓国の特徴といった多様な事象を項目ごとに整理して体系的に考察する。	◎				日本との関係を含む中国や朝鮮半島の歴史的背景を踏まえた地域の発展、中国の人口増加と経済格差、中国・韓国・朝鮮半島の多様な特色や地域の課題を、項目ごとに整理して体系的に考察し、その過程や結果を適切に表現できること	探究心
	11	16	16 東南アジア	2	形式的な地域区分にもとづき、自然環境、歴史と文化、民族、農業、工業、ASEANの変化と課題という多様な事象を項目ごとに整理して体系的に考察する。	◎				東南アジア諸国の多様な文化や歴史、歴史的背景を踏まえた地域の発展、ASEAN圏にみられる農業の多様化や工業の発展、地域格差や都市問題などの地域の特色や地域の課題を、項目ごとに整理して体系的に考察し、その過程や結果を適切に表現できること	学びに向かう姿勢
	11	17	17 南アジア	2	形式的な地域区分にもとづき、地形と気候、多岐にわたる宗教、インドの農業と生活の変化という多様な事象を項目ごとに整理して体系的に考察する。	◎				インドのヒンドゥー教を背景とした地域の発展と変遷、インドの農業と課題、IT産業の発展のしくみや中国との結びつきなどの地域の特色や地域の課題を、項目ごとに整理して体系的に探究し、とらえようとしていること	学びに向かう姿勢
	11	18	18 西アジアと中央アジア	2	植民地が広がる自然環境に注目した地域区分にもとづき、自然環境、イスラムの生活文化、交易と都市、資源と産業のありかたについて、類似の性格の二つの地域を比較して考察する。	◎				二つのアジア地域の歴史的背景を踏まえた地域の発展、交易を軸に発展した都市の共通性の背景、豊かさと資源と産業の共通性と課題などの地域の特色や地域の課題を、類似の性格の二つの地域を比較して考察し、その過程や結果を適切に表現できること	思考・判断・表現力
	12	19	19 北アフリカとサハラ以南のアフリカ	2	中東文化と中東アフリカ文化という文化に注目した地域区分にもとづき、気候と歴史、歴史的背景と文化、一次産業への依存、生活の変化と地域格差との結びつきを軸に、対照的な性格の二つの地域を比較して考察する。	◎				歴史的背景を踏まえた地域の発展、文化の異質性、一次産業への依存が強い経済構造、生活の変化と地域格差との結びつきなどの地域の特色や地域の課題を、対照的な性格の二つの地域を比較して考察し、その過程や結果を適切に表現できること	思考・判断・表現力
	12	20	20 ヨーロッパ	2	形式的な地域区分にもとづき、自然環境、歴史、EUの結びつき、農業、工業、多岐にわたる多様な事象を項目ごとに整理して体系的に考察する。	◎				産業革命以来の歴史的背景を踏まえた地域の発展、各地域の民族と宗教の課題、EUを中心とした地域の発展と課題、EU加盟国とEU加盟国でない地域の特色や地域の課題を、項目ごとに整理して体系的に探究し、とらえようとしていること	探究心
	1	21	21 ロシア	2	植民地が広がる自然環境に注目した地域区分にもとづき、自然環境、歴史、産業という多様な事象を項目ごとに整理して体系的に考察する。	◎				かつての社会主義としての歴史的背景を踏まえた地域の発展、社会主義時代からの農業や鉱工業の発展と工業の発展と課題、世界への経済・文化的影響、アメリカとロシアの関係などの地域の特色や地域の課題を整理して、その過程や結果を適切に表現できること	探究心
	1	22	22 アングロアメリカ	2	文化に注目した地域区分にもとづき、自然環境、移民国家としての発展、人口と都市、農業、科学技術と産業、世界に影響力のあるアメリカ、アメリカとの結びつきが強いアジアという多様な事象を項目ごとに整理して体系的に考察する。	◎				移民がもたらした歴史的背景を踏まえた地域の発展、人種・民族の課題、大都市問題の背景や背景、農業と工業の変化と課題、世界への経済・文化的影響、アメリカとロシアの関係などの地域の特色や地域の課題を整理して、その過程や結果を適切に表現できること	学びに向かう姿勢
	2	23	23 ラテンアメリカ	2	文化に注目した地域区分にもとづき、自然環境、文化、大土地所有と農業の変化、工業化と生活の変化という特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動的に考察する。	◎				歴史的背景を踏まえた地域の発展や、移民と人種・民族構成や大土地所有による農業の発展がもたらした、社会主義を背景とした工業化と農業と生活の変化などの地域の特色や地域の課題を、有機的に関連づけて動的に探究し、その過程や結果を適切に表現できること	思考・判断・表現力
	2	24	24 オセアニア	2	形式的な地域区分にもとづき、一つの大陸と太平洋の島嶼、移民の歴史と多文化社会、進化するアジアとの結びつきという特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動的に考察する。	◎				歴史的背景を踏まえた地域の発展や、移民と人種・民族の課題、大土地所有による農業の発展がもたらした、社会主義を背景とした工業化と農業と生活の変化などの地域の特色や地域の課題を、有機的に関連づけて動的に探究し、その過程や結果を適切に表現できること	思考・判断・表現力
3	25	25 日本が抱える地理的・社会的課題	2	現代世界において日本が抱える地理的・社会的課題について、多面的・多角的に考察し、探究する活動を通して、その解決の方向性や将来像について考察する。	◎				◎	日本が抱える地理的・社会的課題について、関心と課題意識を高め、それを意図的に探究し、とらえようとしていること	探究心